

# 子どもたちの明日

Children, Our Future

2021年11月

132号

## 目次

- ・新しい「村の幼稚園」の開設調査に参加して 1頁
- ・資金集め - カンボジア事務所の自立を目指して 3頁
- ・カンボジアのコロナウイルス感染症 4頁

## 1

### 新しい「村の幼稚園」の開設調査に参加して

私はブン・プットカニカ、CYKの保育事業調整員です。2021年4月から働き始めました。カンボジア人としてカンボジアの幼児教育の分野で働けることをとても誇りに思っています。この6ヶ月で幼児教育についてたくさんのことを学びました。特にコンボンチュナン州での仕事では、暑さや雨にもかかわらず地域の人たちや子どもたちの親に会う機会がありました。トロピアン・ブーン村とプレク・クンロン村に2021年度に新しい「村の幼稚園」を開くための2回目の調査です。

プレク・クンロン村の人たちとの会議



トロピアン・ブーン村での打合せ

カンボジアは内戦時代に多くの人たちが虐殺や飢餓・病気で亡くなりました。近隣の国との戦争や自国内での政治的な派閥の紛争がつづき大変難しい状況にあった国です。私自身も戦争で家族を失ってしまった一人です。本当に辛い出来事です。その後カンボジアは、現在まで平和を希求し自立のために闘ってきました。今日カンボジアはほとんどの分野で発展を続け進化を続けてきています。

#### 農村の現状

しかし農村を見ると、いまだに電気もない遠隔地では人々は貧困の中で生活しています。極端な遠隔地では村に行く道路もなく学校や病院やお寺もなく食料も綺麗な水もない暮らしをしている人もいます。彼らの生活は労働者として働くこと、その日の胃を満たす食べ物と交換に働いています。中にはタイ、ラオス、ベトナムなどの国へ出稼ぎに行かなければならない人もいます。同じ空の下に住んでいますが、運命は天国と地獄のようで

す。私たちが、期待するのは、地方の農村地域でも教育分野が発展することです。カンボジアが再び戦争の災禍に陥ることがないように、将来国の柱となる強い子どもとカンボジアの人たちが成功して立ち上がり強さを取り戻すように心ある方の支援を求めています。

#### 「村の幼稚園」を開く村

トロピアン・ブーン村には、現在203世帯、合計1125名(女490名)の人が住んでいます。貧しい39家族と約50%は中間層の家族です。村の人たちの多くは農業、野菜作り、ヤシ砂糖づくり、工場労働、小規模の商売に従事しています。村からは別の村にある地域幼稚園までの距離は遠く村の小さい子どもたちは幼稚園に通うことができません。親は子どもたちに小学校へ行くまで待つようにというしかありませんでした。

プレク・クンロン村は小学校が遠いため子どもが通うのは難しいです。この村には、248家族、739名(女352名)





ブレク・クンロン村 園舎建設予定地を見る

が住んでいます。住民の多くは農業、野菜作り、コンポンチュナン市やブンペンでの工場労働者やヤシ砂糖づくりの仕事をしています。この地域では、学校までの距離が遠く親が子どもを送ることができず、幼い子どもたちは幼稚園に通えないのです。

#### 地元の人たちの意向

事業を始める前に地元の人たちの意見を聞くことは大変重要です。私は保育事業調整員として予算や目的、将来の展望など事業の説明をする機会がありました。事業の場所や園舎建築、子どもの数を知り、地元の人たちの意志、特に私たちのチームと協力する可否かを知ることがとても大事です。この調査は私たちが事業を円滑に運営するのに役立ちます。どんなに彼らが学校教育の価値を理解し子どもたちに対してどのような望みを持っているか、人々の教育分野での考えを知ることができます。彼らは良い未来を持っているのでしょうか。私は地域の関係者が活発に団体に協力し打ち合わせに参加し、話を聞くことで彼らが勉強することの価値をよく理解していると感じました。特に幼児教育の分野に価値をおいています。

#### 親の夢をかなえる「村の幼稚園」

村の幼稚園は親や私にとっても夢です。自然いっぱいの涼しい環境で、花を咲かせる木や実のなる木々に囲まれて木陰に座る椅子があり、子どもたちが滑り台やシーソーなどの遊びができる幼稚園です。そこには清潔なトイレ、手洗い場、カンボジア王国の国旗を敬う場所があり子どもの安全のために幼稚園の周りに垣根も作られています。菜園もあり、昼食の後に休む場所、子どもたちが一緒に学校が提供する食事をとる台所もあります。

私たちの団体は園舎、清潔なトイレ、外遊具、教材やおやつなどほとんどすべてのものを提供しています。私は幼い子どもたちがそのような良い環境で教育を受けられるのを見てとても幸せです。そしてこの園舎を受け取った後も子どもたちや親が次の子どもたちのためにも大事に管理することを望んでいます。

#### 日本からのご支援

この分野でカンボジアや外国からの支援の中でも、特にCYRを通じた日本人たちの支援はまさにカンボジアの子どもたちへのものです。私は日本政府や日本人たちが、いつもカンボジアの人たちに無条件に支援して下さり助けてくださったことを大変幸せ

に思っています。このような日本の優しい意味深い意向を見て私は大学で日本語を学びました。もちろん日本語を学ぶのは、容易ではありませんが、私はベストを尽くし、大学の学位を取れたことに満足しています。その一方で大学を卒業したあと、私は自分の国に貢献することを心から望んでいました。特に教育の分野を更に発展させるこの支援の仕事で私の心を使い自分の時間を使えることができるようになってとても嬉しいです。皆さんと一緒に子どもの未来のために、教育と発展のためこの事業を進めていきたいです。2021年度に開設予定の「村の幼稚園」の建設がコロナウイルス感染症の拡大にかかわらず、円滑に進められることを心から願っています。

最後に、私は子どもたちのために教育を継続するということが強い考え方になるよう期待しています。私が自覚して課題に取り組んでいるこの考え方は“千里の道も一歩から”という言葉と同じように、私を力づけます。幼児教育の分野は初めの第一歩です。皆さんと助け合って事業を継続し成長していきたいです。農村地域の幼児教育の分野で予算がなくても気持ちがあれば是非CYKのチームと一緒に始めましょう。

## 2 資金集め - カンボジア事務所の自立を目指して

私はリナといいます。29歳です。2013年に金融と銀行の学士を取得し、国立マネジメント大学を卒業しました。大学卒業後初めての仕事は大学時代からインターンをしていたCYKの織物事業のショップアシスタントでした。1日2時間3ヶ月間、ボランティアも体験しました。2020年の2月から再びフルタイムでCYKの織物販売マネージャーとして働き、織物販売事業が終了してからは6月にアドミニマネージャーのアシスタント・会計事務の仕事を担当しています。

4月にCYKで開かれた資金集めのための研修は、新型コロナウイルス蔓延のためスカイプでしたが、資金集めを始めるのに必要な方法や手順についてたくさんの新しい知識を得ることができました。

この研修の目的は他の人の力や資源というよりもCYKのスタッフが自分たちで現地の資金を集めて、自分の力と資源を持って自立していくことです。CYRの東京事務所が後押しして、PanasonicNPO/NGOサポートファンドを頂戴し、コンサルタントのイン・サムリティさんがトレーナーとして来てくれることになったのです。

#### 資金集めの効果

研修を始める前は、資金集めについても、またそれが団体にとっても大事という知識は全く持っていませんでした。資金集めを通して、非営利団体が共通の目的のために一緒に働き、事業の目標や計画作り、持続可能な団体の組織作りが活性化されます。周囲も様々なことに気づき、意識や関心が高まります。関心を持ったボランティアは、お金を寄付する、あるいは自分の時間を使い、いろいろな方法で、さらに周囲の意識を高めることができます。多くの場合、集められた資金を受ける人たちは、チャリティを受けたのではなく、その資金で提供された物や



経験を、まるで実際に自分たちが稼いで手に入れる事が出来たかのように感じることができます。人が力づけられたと感じるのはこのためです。

#### CYKの良さ

CYKは1991年から子どもと女性の福祉が必要とされているカンボジア国内で活動しています。カンボジアではいまだに多くの子どもが適切なケアと教育が受けられず、その影響は厳しいものがあります。

CYKには多くの素晴らしい点があります。幼い子どもたちの包括的な環境を改善させるために、保育者や保護者・地域の人たちの能力を高め、強化することに力を入れています。同時に地域や村の幼稚園の自立運営をサポートしています。団体やスタッフの能力を強化し事業や組織運営の能力が高められるように努力しています。

#### 研修で学んだこと

研修の後、私はカンボジアでの資金集めの意味についてはっきりと理解し、どういうことか定義できるようになりました。自分の中のたくさんの確かな変化と創造性に気づきました。資金集めの方法を理解し、サポートできるリーフレットをどのように制作するかも学びました。ドナーに情報を明確にアップデートすることができるようになり、強い絆をドナーと維持するのに役立てられると思います。

調査についても学びました。なぜ調査をするのか、どのように調査項目を

企画していくか、調査の報告を書くときに読者は誰か、どの情報が必要か。そして報告が必要な時にどのように質問を用意し、データや情報を集めるのに誰に連絡をとればよいかなどです。また、戦略計画を立てるときに、政府のトップレベルから地方自治体のレベルまで、誰が核となる人物か事業に関わる人物かということもわかってきました。戦略計画は明快でなければなりません。現在は支援者を魅了する申請書を書く技術を高め、プロジェクトを評価する管理評価システムの研修を受けています。CYKがNGOとして客観的な説明ができ、健全な管理体制で運営しているというGPP認定にも申し込みをしました。

#### これからへの期待

資金集めができれば、恵まれない人たちにより多くの機会を生み出します。幼児期の遠足のような経験は、子どもたちの成長、創造性を育て達成感や自己肯定感を高めるなど、子どもたちはたくさんの事を学びます。活動の前向きな成果を広げていきたいです。

私たちの幼児教育の事業に関心を持つ支援者にお会いするのを楽しみにしています。私はCYKのゴールと計画を更に詳しく支援者に説明し、強いきずなと信頼関係を築いていきたいです。支援者の皆さまのご寄付を最大限に活かしながら、私たちの計画を確実に達成していきたいと思っています。

## 3 カンボジアのコロナウイルス感染症

カンボジアの感染状況は、ワクチン接種の進展に伴い市中感染は減少傾向にあります。11月1日の保健省の発表では、その日の新しい感染者数は91人、亡くなった方は累計2,800人、累計陽性者数は118,702人、治癒者数は115,017人です。ワクチン接種については、世界的に見ても早いペースで進んでおり、人口の85.92%が接種しています。13,746,625人（うち6歳から18歳までが3,769,730人）感染拡大に歯止めをかけるために4月にはプノンペンのロックダウンに踏み切る等、厳しい規制が行われてきましたが、10月8日、フン・セン首相は、新型コロナ感染状況が落ち着いている場合には、経済の全分野での活動再開を行う方針であると発表しました。11月15日からワクチン接種2回以上の接種者については、入国時の隔離が撤廃されました。学校について、教育青年スポーツ省は、クラスの人数を制限して、11月1日から学校を再開しています。

コロナウイルス感染症から回復したカニカさんに伺いました。

「9月の後半と10月の最初の週は仕事が一番忙しい時期でした。私は9月25日の保育教材配布の仕事に行った夜

39度の高熱がでました。その夜眠れませんでした。翌朝の4時ごろ、私の兆候は前日より急速に進んで、喉の痛みを感じ、トイレに行く力がもうありません。足が動かず立っていることもできなくなりました。体温はまだ高く、スレイさんに電話をした後全く力がなく1日眠っていました。

9月28日の早朝、症状はますます悪くなり常時咳こんで声が途切れて話すことが難しくなりました。夫がコロナウイルスの感染症の検査キットを買ってきてテストをしたところ、考えていたように陽性でした。二度目のテストでも、結果は同じでした。そして保健省の救急車が私たちを連れに来ました。集中治療室で寝ている患者の様子を見たとき恐怖を覚えました。大切な人の命を救うために何人もの付き添いの人が酸素ポンペを患者にあてていました。希望を失い、私の心はその時壊れました。家に帰りたかったです。私たちは700人もの方が寝ている隣の部屋に連れて行かれました。

3日目に医師からデルタ株だということを知られ別の病院へ移されました。私がそこで見たのは、最初の病院と同じようにベッドに寝ているたくさんの遺体でした。私はとても憂鬱になって食欲もなく眠るだけでした。医師は私のところ



に来て家族のように私に話しかけ、元気づけてくれました。そのとき私は家族や夫、CYRやCYKのみんなや友達からたくさんのお見舞いや励ましを受け取り、再び希望の樹を心に植え始めました。

結局わたしは11日間で回復しました。医者から陰性になり退院の話聞いたときには、虹のような感覚で本当に嬉しかった。家に帰り、あと14日間の隔離の後、以前のように自由になれる。コロナウイルスからの生まれ変わりをどう表現したら良いかわかりません。今、私もおなかの赤ちゃんも元気です。」

### CYR 情報

会費お振込み・活動へのご支援は、下記までお願いいたします。

郵便振替 00110-8-36227  
三菱UFJ銀行 六本木支店(普通) 1351747  
特定非営利活動法人幼い難民を考える会

寄附金受領証明書について：

対象期間：2021年1月1日から12月31日(当会着金)

郵送時期：2022年1月下旬

早めの発行をご希望の場合は、会までご連絡をお願い申し上げます。

幼い難民を考える会(CYR)は認定NPO法人です。  
ご寄付は税制優遇措置の対象となります。

子どもたちの明日 132号

発行日：2021年11月23日 発行者：関口 晴美

### プノンペン事務所(CYK)

Borey Piphub Thmey Chhouk Va III, #55, St.95, Prey Sala Village, Sangkat Kakab, Khan Posen Chey, Phnom Penh, Cambodia

TEL: (+855) 23 882 972 FAX: (+855) 23 882 971

Email: info@cyk.org.kh

URL: <http://www.caringforyoungkhmer.org/>

### 特定非営利活動法人幼い難民を考える会

#### 東京事務所(CYR)

〒110-0016 東京都台東区台東1-12-11 青木ビル3B

TEL: 03-6803-2015 FAX: 03-6803-2016

Email: info@cyr.or.jp

URL: <https://www.cyr.or.jp/>